

イクメン★ゴローのプロフィール

本名 福田 悟郎 [ふくだ ごろう]

1976年 埼玉県生まれ 34歳 身長186cm

● 略歴 / 専修大学法学部中退、フリーター、サラリーマンを経験。

厳しい職場環境、過酷な労働条件を体験。フリーランス (Web制作) として、主に民主党議員のホームページ作成・管理を担当。衆議院議員 野木 実 (前和光市長) 秘書となり現在に至る。

● 趣味 / 音楽、ジョギング (元陸上競技部)

● 好きな食べ物 / うどん・カレー

● 尊敬する人 / 本田 宗一郎

● 家族 / 妻と娘の3人家族



● 私たちも推薦します



■ 所沢市長 当麻 よし子

子どもは市の宝。あったか市政とろろざわでは、子育て世代の力が不可欠です。ふくだ悟郎さんには子育て世代の代表として期待しております。



■ 衆議院議員 小野塚 勝俊

ふくだ悟郎さんは所沢の事を第一に考え、いつも走りまわっていると熱い男です。体は大きいですがフットワークはもの凄く軽いです!!

★用語解説

【イクメン】子育てを楽しみ、自分も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。イクメンがもっと多くなれば、妻である女性の生き方が、子どもたちの可能性が、家族のありかたが大きく変わっていくはず。そして社会全体も、もっと豊に成長していくはず。

ふくだ悟郎氏の連絡先 〒359-0023 所沢市東所沢和田 3-13-53

TEL&FAX 04-2968-4505 <http://fukuda56.com>

民主党プレス民主編集部

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)press@dpj.or.jp <http://www.dpj.or.jp>

民主党埼玉県第8区総支部

〒359-1142 埼玉県所沢市上新井5-17-8  
TEL.04-2997-8878

ふくだ悟郎

所沢イクメン計画!

2010年11月

(第1・第3金曜日発行)

号外

埼玉8区版

## 所沢市議会議員選挙で 民主党大型新人

### 『ふくだ悟郎』さんの公認決定

民主党は、2011年4月執行予定の『所沢市議会議員選挙』において新人の『ふくだ悟郎』さん (34歳) を公認しました。

ごろう  
ふくだ 悟郎

「イクメン★56」の 34歳  
所沢、子育て改革!

住みたいまち  
日本一

子育て世代の代表として  
“所沢イクメン計画”を宣言!

▶ ふくださんは妻と1歳になる長女の3人家庭。ただ今子育て真っ最中です。子どもたちを通して、子育て世代の喜びや戸惑いをともに分かち合い、支えあう“所沢スタイル”の子育て環境づくりを目指しています。

所沢市を“住みたいまち日本一”にするため、民主党がお奨めする大型新人! 身長186cm。名づけて『イクメン★56』さんです。

## 政策 1 所沢“イクメン”計画

人生80年と言われる昨今、子を産み育て親子が生活をとともにする年月はたかだか20数年。

子育てに悩み苦しむも、楽しみながら子と向き合うも、どちらも1度しかない人生です。

同じ人生ならば、男も女も楽しみながら子育てできる環境を所沢につくります。



## 政策 2 地域医療を守る

命を大切にするまち『所沢』を目指します。

小児救急医療から慢性期医療、さらには在宅医療まで、誰もが安心して暮らせる所沢にします。

その実現に向け、所沢市における地域医療を守り発展させるため、医療職の人員不足を行政と医療団体が一体となって改善します。

## ①『育児サロン』市民ネットワークの創設

▶ 地域ごとに子育て世代が交流できる『サロン』を創設します。

ここで地域の財産とも言うべき“お婆ちゃん”の知恵袋を活用し、子育てや生活の工夫も受け継ぎます。もちろん世代間交流を深めることは言うまでもありません。



## ② 食とアレルギー相談室の開設

▶ 近年、食物アレルギーに関して、子どもたちは様々な症状に悩まされています。

アレルギー体験のある市民の方や、そのご家族の皆さんの協力により、今アレルギーで悩んでいる市民の皆さんをサポートする相談室を開設します。市民による市民のための運営で、食物アレルギーに悩み苦しむ方々を守り支えます。政治とは、そして政治家とは、光の当たらない人々に光を当てることが使命と考えるからです。



## ③ 男が変われば社会が変わる！

▶ 『男』は食べる人、『女』はつくる人！・・・という表現は過去の話、新鮮野菜の宝庫と言われる“メイド・イン・所沢”野菜を活用して、『地産地消』のまち所沢をアピールします。具体的には、市内の学校給食に地場産野菜の利用比率拡大を図るとともに、小学校区単位で授業参観等に際して、保護者向けの『調理実習』を加え“イクメンシェフ”の輪を拡げます。



## ① 救急30分ルールの実現

▶ 救急車を呼んだら30分以内に医療機関にたどり着ける、当たり前の“救急30分ルール”をつくります。市民の命を守る救急医療体制の実現に向け、市と地元医師会の協力関係を密なものとしします。



## ② 地域医療機関への就活促進

▶ 医療機関、介護施設などは慢性的な職員不足となっています。

こうした医療の職場に、新世代成人や新卒者を対象とした、医療関連求人情報を積極的に提供し、地元で働き生活する就活支援を推進します。市民の命を守る人もまた市民！と言う支えあいのまち所沢が目標だからです。

